

「咸臨丸とサラキ岬の夢見る会」結成10周年記念事業・式典・祝賀会

11月28日、「咸臨丸とサラキ岬に夢みる会」の結成10周年記念事業・式典・祝賀会が行われました。あれから10年・・・月日が巡るは早いものですね。作家の合田一道先生との出会いがご縁で荒涼としたサラキの大地にオランダ日本人会の松本氏から寄贈されたチューリップを植えたのが始まりです。その後咸臨丸子孫の会との出会いから全国に交流の輪が広がり、オランダ大使館ともご縁ができました。

サラキ岬には会員の汗と努力はもちろんのこと、町内外の企業や団体の奉仕で終焉記念碑、咸臨丸ミニメント、史跡看板、大型入口看板などが設置されました。近隣の町内会の支援によりチューリップ花園も今では約5万球が咲き誇り、多くの観光客が訪れるまでになり、道南の観光交流拠点の一つとして数えられるようになりました。

10周年事業として、荒到夢形氏による講談「栄光と悲劇の咸臨丸」、本会のテーマ曲「咸臨丸よ、永久（とこしえ）に」の発表、そしてご支援いただいた方々に感謝状を贈呈するとともに、何よりも一人ひとりが互いに心の感謝状を贈り合うことができました。

一人ひとりの真摯な思いが重なり合うときの力は凄いものですね。互いが立場をこえて決して奢ることなく突き進む力は強いものですね。

夢を語り続けて10年、今サラキの大地にたたずむ自分を思うとき、更なる夢を抱き続けることを誇りに歩みを進めたいと思います。すべての人に・・・ありがとう!!



全員で「咸臨丸よ、永久に」を大合唱



お世話になった方々へ感謝状贈呈



10周年記念誌